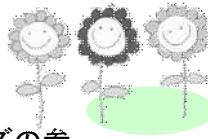
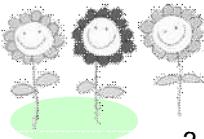


# 埼玉ワーカーズ連合会における福祉政策と CCS発足について



3月4日、NPO法人コミュニティケアクラブ埼玉(CCS)が7つのワーカーズの参加と運動グループの協力により設立され、生活クラブ生協埼玉の地域福祉政策がスタートしました。

**埼**玉におけるたすけあいワーカーズや福祉の政策は、運動グループやカリスマ的強力なリーダーシップがあって成立したわけではありません。それぞれのエリアにおいて様々な条件と必要性の中からそのエリアの特色を生かして、必要だと考えた人々によって設立されてきました。

**介**護保険が始まる以前には、先進的な人々によるたすけあいワーカーズの試みも数団体ありましたが、ワーコレ連合会発足当初の頃で、福祉の芽を包含出来なかった事は、今さらながら残念な事でした。それらの団体も、介護保険参入により事業として成り立っているように聞いておりますが、福祉事業をワーカーズコレクティブという方法で成り立たせるという事については、連合会としても力不足であり、生活クラブにおいても単なる介護福祉事業のデイホームであったわけです。

この10年間を空白の10年とするか、飛躍の為の準備期間であったとするかは、これから運動グループにおける地域福祉政策をどの様に発展させるかで評価されるのだと考えます。CCSはその為の機関であり、運動と事業の連結の場と考えます。やっと連合会と生活クラブの政策が一致し、共に協同して歩んでいく組織が出来ました。

**ワ**ーカーズコレクティブは三人からつくれる協同組合であり、小さなグループもワーカーズでできることを実証する場としてCCSに期待します。生活

クラブの組合員としても、自分達に必要なたすけあいのワーカーズを作りやすくするための中間支援組織として位置づけられると思います。

『地域福祉(コミュニティケア)とは、人が生まれ、死んでいく。当たり前の一生の中で必要な人々の営み、ひとりでは解決できないあらゆる事について、協同して解決しましょう』という事です』

**私**達ワーカーズ連合会は業種の種類を問わず、連携し、ワーカーズの地域福祉政策をたてていきましょう。

それぞれの事業の中で、この課題に対して問題意識をもち、積極的に解決の為のアクションを起こしていく必要があります。

井瀧 佐智子  
福祉部門担当 CCS理事

**CCS:**NPO法人コミュニティケアクラブ埼玉。生活クラブ生協が提唱した、参加型地域福祉実現のための組織。

**運動グループ:**生活クラブ運動グループ。「生活クラブ生協埼玉」「埼玉県市民ネットワーク」「埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会」「NPO大人の学校」そして「NPO法人コミュニティケアクラブ埼玉」の5者のそれぞれの特性を生かし、豊かな地域を作ることを目的とした連携。

**埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会福祉部門:**「青いそら」「みるく」(越谷エリア)  
「この指とまれ！」(川口エリア)「てとて」  
(熊谷エリア)「an」(狭山エリア)「輪っ  
はっぱ」(所沢エリア)「あいのて」(大宮  
エリア)の7ワーカーズが参加。

